

(件名) XBB対応型のワクチン接種が9月20日から始まるが、健康被害を出すだけであるため、その注意書きを接種券郵送時に同封することを求める陳情

(陳情の趣旨)

新型コロナのオミクロン株(XBB.1.5)対応型のワクチン接種が9月20日から開始される。しかし、このワクチンは武漢株の抗体だけが增加し、XBBに対する抗体はほとんど作られないことがファイザー自身が提出したデータに示されているという。このことを東北有志医師の会は、https://drive.google.com/file/d/1eyC-W7tBN3MjhrXyIplH0gWmNi_FH4lpQ/view?pli=1で動画により示している。

また、東京理科大名誉教授の村上康文氏は、<https://sp.nicovideo.jp/watch/sm42657389>にある動画で次の指摘をしている。

1. XBB対応型ワクチンは不人気で日本以外に購入する国があるかどうか疑問。
2. 接種を実際に行うのは日本だけになる見込みである。
3. このワクチンは人での臨床試験は行われていない。
4. ファイザーがマウスで行った中和抗体誘導効果の実験結果ではXBB中和抗体はほとんど増加しないことが分かる。その為、単に武漢型ウイルスに対する中和抗体が増加するだけで、XBBの感染予防にならないし、武漢型ウイルスに対する抗体が増加するためにいわゆる抗原原罪が強まり、XBBを含めた新たな変異株に対する免疫が働かなくなる。

このXBB対応ワクチンはファイザー製だが、ファイザーがある国であるアメリカ政府も、このXBB対応ワクチンを接種するとは未だに述べていない。そもそも、アメリカではまだ承認申請を出した段階であり、緊急使用許可さえも出されていない。

しかし、国が接種を押し進めているため、県が独自で取りやめることはなかなか困難であろう。

以上の趣旨により下記のことを陳情する。

1. 接種券郵送時にほぼ健康被害が起こるだけであり、接種の利益は見込めないことを記した注意書きを同封することを県下の各自治体へ促すこと。
2. このワクチンを接種した人々の健康影響を追跡するシステムを構築し、医師または患者本人が健康影響があったことを公的に統計に残すことが出来るようにすること。

以上